

2020年11月11日

保護者 各位

東京大学教育学部附属中等教育学校

校長 齋藤 兆史

本校舎トイレ改修について

秋らしい晴天が続きますが、朝夕と日中の気温差や色づく校庭の銀杏に、冬の訪れを予感させる季節です。保護者の皆さまにおかれましてはご健勝のことと存じます。

これからかぜの流行期を迎えるにあたり、感染症対策に一層心を配りつつ、学校に「からだ」の関わりを取り戻す営みに頭悩ませる日々です。

本校ではこの度、東京大学施設部のはからいで、下記のように本校舎トイレの改修をおこなう運びとなりました。この工事を通して、便器の全面洋式化や手洗い場の自動水栓化など感染症対策が進むと共に、女子用個室の増加（現有24→改修後29）をおこないます。

工事期間中には生徒に不便をかけますが、安全を心がけながら進めて参りますのでご理解の程よろしくお願いいたします。

記

- (1) 工事期間は11月14日(土)～3月23日(月)を予定。
- (2) コンクリート破砕など、大きな音の出る作業は土日祝日に実施。
- (3) 11月～1月は前期棟の6カ所のトイレを全面改修、2月より供用開始。
その間中学生は、総合棟・高校棟などのトイレを利用。
- (4) 2月～3月は高校棟の6カ所のトイレの洋式化を実施。
また南棟（図書館脇・大教室脇）のトイレについては全面改修。
その間高校生・教職員は中学棟・総合棟などのトイレを利用。
（ただし高校棟は個室の一部のリニューアルにとどまるので、部分的な供用はできるかもしれませんが）
春休みよりは全面供用開始。
- (5) 高校棟については2021年度に改めて全面リニューアルの計画があります。
（これは予算との兼ね合いとなります）

以上